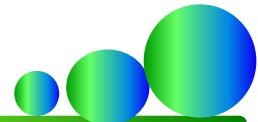




# エスガタケイソウ



霞ヶ浦の湖水中で観察される珪藻の中で、形がS字型に曲がっているものの多くは、「エスガタケイソウ（「エスジケイソウ」ともいいます。）」です。

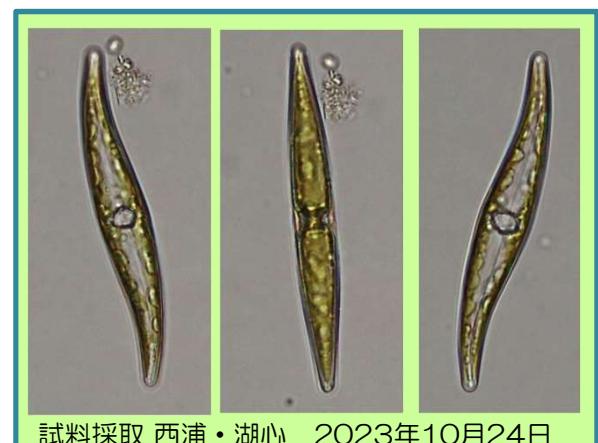
エスガタケイソウは、上側から観察した場合は、①のようにS（アルファベットの“エス”）型に見えますが、横から見ると②のように「I（アイ）型」に見えるし、下側から見た場合には、③のように逆S型に見えます。

光学顕微鏡で、生きている個体を観察すると、すべるように動いていることもあります。

学名は、*Gyrosigma*（ギロシグマ）属といいます。

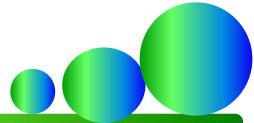


動画をご覧ください。  
下の写真がすべて同じエスガタケイソウを観察していることがわかります。





# 実は、2種類いる S字型のケイソウ

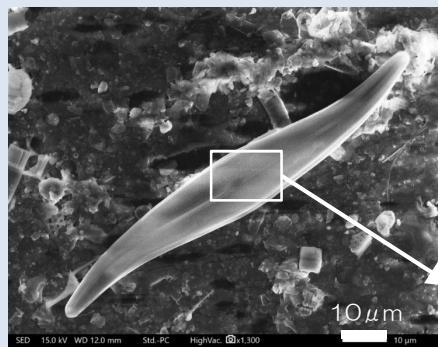


エスガタケイソウの殻には、縦横の線が格子状になって見える模様があります。この模様は、光学顕微鏡では、高倍率でも観察するのがなかなか難しいですが、電子顕微鏡では、下の写真のように、比較的簡単に観察することができます。

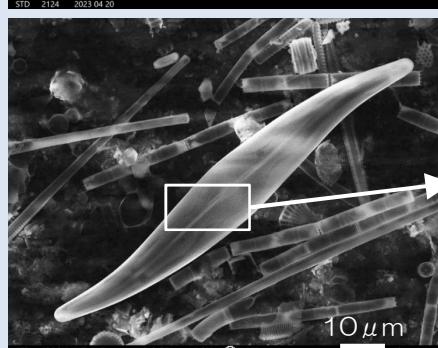
電子顕微鏡による観察で、霞ヶ浦の西浦・湖心にも、この殻の模様が、斜めに交差している網目状の模様のものもいることがわかりました。これは、メガネケイソウ※ (*Pleurosigma* (プレウロシグマ) 属という、本来は海産のプランクトンです。霞ヶ浦が、もともと海だったなごりでしょうか？

※「メガネケイソウ」という和名は、網目模様を顕微鏡の調整や検査に使われたところからつけられたそうです。（出典：日本淡水プランクトン図鑑、水野寿彦、保育社、1990）

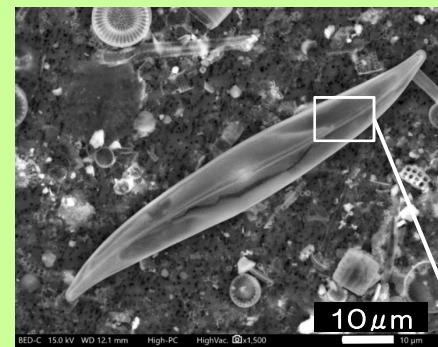
## エスガタケイソウ (*Gyrosigma* 属)



試料採取 西浦・湖心  
2022年10月15日

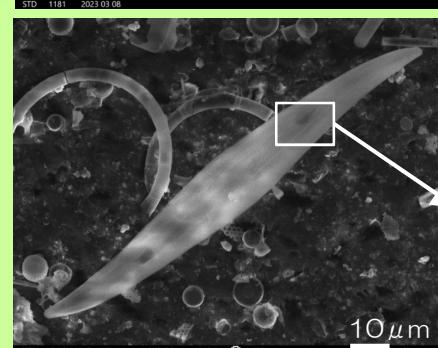


## メガネケイソウ (*Pleurosigma* 属)



※西浦・湖心でメガネケイソウが観察されるのは、とても珍しいです。

試料採取 西浦・湖心  
2022年12月9日



珪藻綱 羽状目 エスガタケイソウ属、メガネケイソウ属